11月のイチ押し選手 ミッドナイト競輪

宇都宮 16～18日	奈　良 18～20日
武　雄 21～23日	前　橋 22～24日
高　知 25～27日	奈　良 26～28日
西武園 29～1日	武　雄 30～2日

前橋22～24日

注目選手 樋口開土（22） 東京・113期

早くから自在屋としての地位を確立していった絢土（96期）、瑛士（109期）ら兄たちとは異なり、ここまでの決まり手のほとんどが

宇都宮での失敗を糧に巻き返しは必至

〝逃げ〟という徹底先行で鳴らす将来有望なルーキーだ。

デビュー４場所目の８月弥彦で初優勝を飾り、以降も毎場所しっかり決勝に進んでＶ争いをリードしている。

しかし10月末の宇都宮で初めて予選、準決ともに２連対を外してしまった（3、3着）。「初日は一瞬ちゅうちょしてしまい仕掛けが半端に。準決は踏むのが遅れて（嘉永泰斗を）合わせ切れなかった」と悔しさをにじませた。「でもいい勉強になった。今後に生かせるように」と失敗を糧にして、さらなる高みを目指していくつもりだ。

反省を踏まえたきっぷのいい積極策で高速バンクを駆け抜ける。

宇都宮での失敗を樋口はムダにしない

西武園29～1日

注目選手 一ノ瀬匠（30） 佐賀・92期

ド迫力の先行でＳ級戦線をにぎわせ、15年２月奈良で行われたケイリンエボリューションでは稲毛健太らを相手に逃げ切りＶを収めた実力

先行有利の当地で実績上位を示したい

者。しかし腰痛の影響もあり一昨年ごろから成績が急降下。今期は久々のチャレンジ暮らしとなっている。「良かったころと比べれば、まだまだ」でも「うまく付き合っている」と持病と向き合い、徐々に力強さを取り戻してきた。未来のＳ級戦士がゴロゴロと走っている今のチャレンジ戦でコンスタントに決勝に進めていることが、地力の高さの証しだ。

「Ｓ級は楽しかったし、やっぱり戻りたい」

Ｓ級返り咲きという明確な目標へと向かって今、再び前進している。今回の舞台は先行有利と言われる西武園。実績上位の威厳を示したい。

実績十分な一ノ瀬。チャレンジでは格上の存在だ